



与儀 清 議員

◆ふるさと納税制度
◆学童保育
◆農水産物流通・加工・観光拠点施設

問 ふるさと納税制度についてであります。本町においても、多くの議員が一般質問で取り上げているが、ほとんどの方が肯定的であります。私は、議会活性化の観点から、あえて批判的な立場から質問をいたします。本来のふるさと納税の趣旨は、都市部に偏る税収の是正や地域活性化。使い道の選択であります。しかし、現実には、業者に頼み、物で釣るといふ本来の意図、精神とは大きくかけ離れたものになっているのでは。しかも、所得の多い人ほど有利であります。町長の見解を伺う。

答 確かにおっしゃるように、今、全国的にふるさと納税をめぐり、一部自治体による返礼品の競争が激化しており、総務省では換金性の高いブリペイドカードや、また寄附額に対し、戻割合の高い返礼品、特産品等の送付行為は行わない旨の通知がで出ています。学童保育の入所に親の共働きを条件づけるのは、いかがなものかと思うのであります。小学1、2年生にもなると、親離れが必要な時期でもあり、友達と遊びたい時期であります。その場が数少ない学童施設であります。親が家に居るからといって、学童に入れないのは酷では。

問 厚生労働省令や国、県の実施要綱、また本町の条例や補助金交付要綱も同様に、保護者の労働等により、昼間家庭にいないものにつぎということも原則としておりますので、ご理解を願います。

問 補助金にしても、あれに使っちゃダメ、これに使っちゃダメ、と規制、しぼりが多すぎ、各学童保育の個性が発揮しづらいということでもあり、できま



大城 純孝 議員

◆熊本・大分震災への対応
◆農水産物流通・加工・観光拠点施設

問 4月に発生した熊本・大分震災への支援活動はどのようなのか。

答 現段階では、職員2名を派遣しています。宇土市に1名、5月22日から宇城市に1名を派遣しています。

問 熊本県西原村と交流があったと聞いている。本町も西原村とつながりを深めるべきだと思つた。

答 町内の有志のみならずで直接募金を届けています。今後、友好関係、交流をやる必要があるという機運が高まるのであれば検討したいと思つていま

問 農水産物流通・加工・観光拠点施設整備事業について説明を受けた。この事業目的の中で農水産物業振興と6次産業化と歴史文化財や商工特産物を販売、情報の発信とあるが、具体的な内容と計画を説明していただきたい。

答 地元の農水産物流通機能として農家が生産収穫した農水産物や特産品を消費者に販売する機会を提供し販路の拡大で生産者の意欲の向上と地産地消を推進するものであります。また、地元客や観光客に地域の食材を提供しオリジナルのスイーツを提供する予定です。併設の歴史民俗文化観光地、特産物等観光資源情報提供機能としてイベント広場を整備し集客につなげる施設になっていきます。

問 当局は指定管理で施設運営すると説明を受けているが、どう考えているのか。

答 この施設は複合施設になっていきます。指定管理については一括で、ということになり、歴史文化展示資料室については教育委員会と連携を図りながら専門家を配置します。

問 概要について、貸借対照表、損益計算書、株主の構成など1年間の成果は。

答 貸借対照表については、負債の部分合計322万円、負債合計が3,629万円、純資産合計がマイナス3,307万円、負債純資産が322万円です。損益計算書で売上高1,620万円、売上原価1,456万円、販売費・一般管理費1,212万円、当期純利益マイナス679万円となっております。

問 決算資料からすると資本増強しないと企業として体力がつかないと思つたが、対策は。

答 株主総会で経営改善に取り組み意見を述べ



農水産物流通・加工・観光拠点施設のイメージパース



真栄城 哲 議員

◆土地利用見直しのビジョン
◆基幹交通網の整備を!
◆町民に情報発信を!

問 大型MICE施設誘致に伴う土地利用見直しに当たり、本町の基本構想と将来的なビジョンを伺う。

答 基本方針は、町都市計画マスタープランですが、誘致決定を受け、基本構想の見直しを行ってまいります。大型MICE施設を起爆剤とした地域振興を最大限促進できる土地利用の実現は必須条件と考えています。

問 町が実施した意識調査の設問「大型MICE施設の活用や東海岸地域の発展に重要な取り組み」について、東海岸地域の観光

答 拠点施設の整備やマリナタウン地区へのホテル誘致や周辺商店街での観光の受け入れ態勢の強化と約4割の町民が答えていることについて伺う。

答 中長期的には、アフターMICEを効果的に受け入れる為に、観光振興や周辺整備、又、鉄軌道の導入等があるかと思いますが、まず、地権者の土地利用の変更の検討を優先的に進めながら検討していきたい。

問 大型MICEへの定時入館システム導入の可否を伺う。

答 大型MICEへの移動手段については、どのような形が望ましいか検討していく必要があると思えます。モノレールを再延伸するのか、次世代路面電車LRT等、新たな交通手段を導入するのがよいか調査研究を行っていききたいと考えています。

問 それと同時に、交通網の整備計画も重要で、高齢者・障がい者・免許を持たない人等へ配慮した基幹交通網も計画すべきと考えるが、整備の可否を伺う。



将来を見据えた交通網を!

答 交通弱者への配慮については、とても重要な視点であると考えています。基幹交通整備に関しては、バス路線の再編等を含め、検討していく必要があると考えています。

問 今、西原町は大きく変わろうとしています。町民は情報を欲しています。大型MICEなどまちづくりは、役所だけで進める仕事ではないと思えます。町民の理解と協力が得られて初めて、まちづくりは上手くいくものだと思います。今の現状を広報誌やホームページ等で発信して頂きたい。町民も一緒にまちづくりをしていかなければ、絶対に西原町はよくならないという思いで要望します。

答 今、西原町は大きく変わろうとしています。町民は情報を欲しています。大型MICEなどまちづくりは、役所だけで進める仕事ではないと思えます。町民の理解と協力が得られて初めて、まちづくりは上手くいくものだと思います。今の現状を広報誌やホームページ等で発信して頂きたい。町民も一緒にまちづくりをしていかなければ、絶対に西原町はよくならないという思いで要望します。



大城 好弘 議員

◆(株)西原ファーム4年間で3,695万円累計赤字。経営改善の対応策は。

問 耕作放棄地対策事業の受け皿として平成23年度に設立、(株)西原ファームも今年で4年目を終えている状況の中、平成27年度の農産物の出荷等について説明を求めます。

答 農業生産売上高は当期計画927万円に対し1,050万円、シマナー、ハーブ類が主な品目となっております。

問 平成27年度決算、損益の状況について。

答 売上高1,620万円、売上原価1,456万円、販売費・一般管理費1,212万円、営業外収益378万円、当期利益

はマイナス679万円となっております。

問 平成27年度までの4年間の累積について。

答 4年間で3,695万円の累積赤字となっております。

問 実質的に経営状況は厳しい状況にあるが、今後の対応策は。

答 農業部門の売り上げが計画より伸びていることから、主力品目にハーブ、ミートマト、インゲン、オクラを加え、生産拡大を図りながら、コスト削減に努め、単年度黒字化に向け、取り組んでいきます。

問 平成27年度は社長も交代、新社長になっていくことだが、以前は役員との給与が支払われていないが、人件費の対応について確認する。

答 社長交代になりました。社長については給料は支払っております。

問 累積赤字3,695万円と町から3,000万円の借入金と合わせると6,695万円の負債総額になっていると思つたが、確認する。

答 貸借対照表の中で、負債分の総額は3,6



西原ファーム

問 小波津4号線の動労の早期整備について、以前にも路線については地域から非常に危険な道路として朝夕、渋滞する。対向車がギリギリで人が通る状況にない。整備計画について伺う。

答 町道小波津4号線は水路と並行する幅員5メートルの道路ですが、小波津川河川改修事業に伴う一部整備計画はありますが、残りの区間については整備計画はありません。